

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 6010793B
 PUBLICATION DATE : 13-06-85

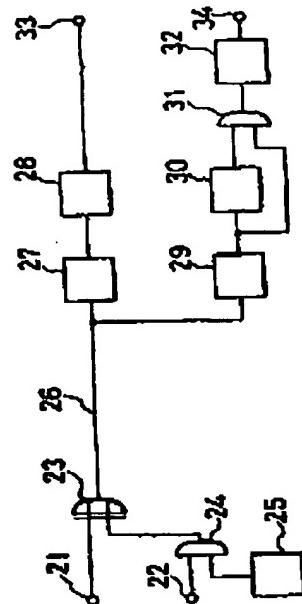
APPLICATION DATE : 16-11-83
 APPLICATION NUMBER : 58214051

APPLICANT : OKI ELECTRIC IND CO LTD;

INVENTOR : SHINDO YASUSHI;

INT.CL. : H04J.13/00 H04L 5/02 H04L 25/02

TITLE : MULTIPLEXING METHOD OF BINARY SIGNAL



ABSTRACT : PURPOSE: To eliminate the need to transmit a synchronizing signal and to eliminate the time up to when synchronism is obtained and a step out by using a pulse signal which has a shorter period than a binary signal and a small cycle.

CONSTITUTION: A pulse oscillator 25 generates the small-duty pulse signal, which is ANDed with a binary signal A by an AND gate 24, whose output is ORed with a binary signal A by an OR gate 23; and the pulse component from the pulse oscillator 25 is removed by a low-pass filter 27 and the waveform of the resulting signal is shaped by a waveform shaping circuit 28. Further, the signal is differentiated by a differentiating circuit 29 and ANDed with the output of a monostable multivibrator 30 by an AND gate 31 and a monostable multivibrator 32 regenerates the binary signal B.

COPYRIGHT: (C)1985,JPO&Japio

① 日本国特許庁 (JP)

① 特許出版会社

② 公開特許公報 (A) 昭60-107938

③ Int.Cl.

H 04 J 13/00
H 04 L 5/02
25/02

識別記号

序内整理番号

④公開 昭和60年(1985)6月13日

Z-6914-5K
6914-5K
Z-6866-5K

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑤発明の名称 2値信号多重化方法

⑥特開 昭58-214051

⑦出願 昭58(1983)11月16日

⑧発明者 進藤 康史 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気工業株式会社内
 ⑨出願人 沖電気工業株式会社 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号
 ⑩代理人 弁理士 山本 忠一

明細書

1.発明の名称

2.値信号多重化方法

2.特許請求の範囲

2値信号伝送路での第1の2値信号と第2の2値信号の多重化方法において、前記第1及び第2の2値信号より周波数が短くかつテューティの小さいパルス信号と前記第2の2値信号との論理積をとり、前記論理積により得られる信号と前記第1の2値信号との排他的論理和信号を伝送することを特徴とする3値信号多重化方法。

3.発明の詳細を説明

(技術分野)

本発明は、2値信号伝送路での3つの2値信号の多重化方法に関する。

(背景技術)

従来の多重化方法の一例を第1図に示す。この方法により3つの2値信号A及びBを多重化する場合、2値信号A入力端子1、2値信号B入力端子2及び両信号混生回路3の各々に対し、セレ

クタ4の切替により時間的な割り当てを行ない、前りさてられた時間に各信号を2値信号伝送路5を介して伝送する。そして受信側では同期信号出回路6に合わせてDフリップフロップ6、7の順序により2値信号AとBとを識別し、それぞれの信号を出力端子8または10に実現するようになっている。しかしながら、このような従来の多重化方法では、上述のとく前りさてられた時間に各信号を伝送するので、各々の割り当て時間を確実にする為の同期信号もあわせて伝送しなければならないという欠点があった。

(発明の課題)

本発明は上述のごとき欠点を除去するためなされたものであって、同期信号の伝送が不要な2値信号多重化方法を提供することを目的とするもので、以下詳細に説明する。

(発明の構成及び作用)

第2図は本発明の方法を適用した一実施例のプロトタイプであり、第3図(a)~(f)はそのダイナミックである。

特開昭60-107938(2)

第2図において、21は2位信号A入力端子、22は2位信号B入力端子、23はイクスクルーシブOR（排他的論理和）ゲート、24及び31はANDゲート、25はパルス発振器、26は2位信号伝送路、27はローパスフィルタ、28は整形整形回路、29は積分回路、30及び32は半安定マルチバイブレータ、33は2位信号B出力端子、34は2位信号B出力端子である。2位信号B入力端子22とパルス発振器25はANDゲート24に接続され、ANDゲート24の出力はイクスクルーシブORゲート23の1つの入力に接続されている。一方、2位信号A入力端子21はイクスクルーシブORゲート23の他方の入力に接続されている。イクスクルーシブORゲート23の出力は2位信号伝送路26を介して受信側と連結される。受信側において伝送路26はローパスフィルタ27及び積分回路28に接続され、ローパスフィルタ27の出力は整形整形回路29を介して2位信号A出力端子33に接続される。一方、積分回路29の出力は半安定マルチバイブレータ

30と接続されると共にANDゲート31の1つの入力に接続されている。ANDゲート31のもう1つの入力は半安定マルチバイブレータ30の出力と接続されている。そしてANDゲート31の出力は半安定バイブルエタ32を介して2位信号B出力端子34と接続される。

上記のごとく構成を有する本実施例の動作について説明すると、2位信号B入力端子22の状態（第3図(a)）が「1」のときには、パルス発振器25からのトーティの小さい逆返し信号（第3図(b)）がANDゲート24の出力となり、この出力信号と2位信号A（第3図(c)）との排他的論理和信号（第3図(d)）を2位信号伝送路26を介して送信する。一方、2位信号B入力端子22の状態が「0」のときには、ANDゲート24の出力は0となり、2位信号Aをそのまま2位信号伝送路26を介して送信する。

この様にして多量化された伝送路26を介して送信側に伝送された信号は、ローパスフィルタ27により、パルス発振器25からのパルス成分を除

去した後、整形整形回路29で波形整形され、2位信号A出力端子33にて2位信号Aが再現される。また多量化された信号は、積分回路にて信号変化分が取り出され、この信号で半安定マルチバイブルエタ30をトリガする。ここで半安定マルチバイブルエタ30及び32の出力時間間隔はパルス発振器25の繰り返し周波の1/8倍に設定しておくものとする。従って、積分回路29の出力がこの時間以内に続いているときのみ半安定マルチバイブルエタ30がトリガされ、その場合、2位信号B出力端子34にて2位信号Bが再現される。

以上説明したように、本実施例では、ローパスフィルタやパルスの遮断性を検出すること等により2つの信号を再現するので、同期信号の伝送が不要となり、従って同期確立までの時間や同期は無用がない利点がある。

（発明の効果）

本発明によれば、同期信号の伝送が不要となり、同期確立までの時間や同期は無用ない利点があ

り、光ファイバを使用した2位信号路の多量化等に利用することができる。

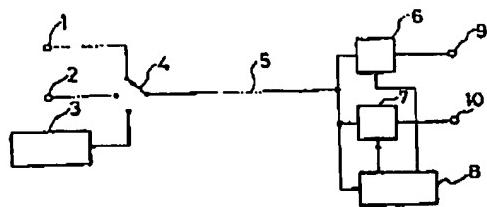
4. 四回の留早を説明

第1図は従来の多量化方法を示す図、第2図は本発明多量化方法を適用して一実施例を示す図、第3図(i)～(l)は上記実施例のタイムチャートである。

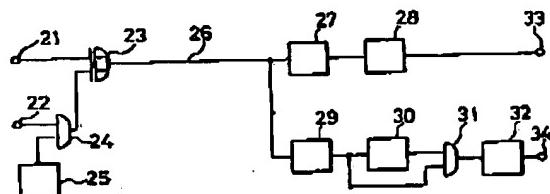
1, 21…2位信号A入力端子、2, 22…2位信号B入力端子、3…同期信号発生回路、4…セレクタ、5, 26…2位信号伝送路、6, 7…Dタイプフリップフロップ、8…同期信号検出回路、9, 23…2位信号A出力端子、10, 34…2位信号B出力端子、23…イクスクルーシブORゲート、24, 31…ANDゲート、25…パルス発振器、27…ローパスフィルタ、28…整形整形回路、29…積分回路、30, 32…半安定マルチバイブルエタ。

特開昭60-107938 (3)

第 1 図



第 2 図



第 3 図

